

議会だより

令和6年11月

もろっか

令和6年 第183号

編集 議会広報編集特別委員会
発行 諸塚村議会

| | |
|--------------|----|
| 令和6年一般会計補正予算 | 2 |
| 令和6年諸塚村議会定例会 | 4 |
| 総括意見／個別意見 | 4 |
| 一般質問 | 6 |
| 総括質疑 | 9 |
| 所管事務調査報告／ | 11 |
| 議会活動報告 | 12 |

もくじ

〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683 ☎(0982)65-1130

～第50回諸塚村民スポーツ祭～

令和6年一般会計補正予算 (NO.1)

第3回定例議会(令和6年9月10日開会)

令和6年度一般会計補正予算 補正額:3億円
補正前:63億3,400万円 補正後:66億3,400万円

一般会計の主な補正内容

「歳入」

- ・普通交付税…………… 197,801千円
- ・物価高騰対策臨時交付金…………… 17,750千円
- ・公共施設等適正管理推進事業…………… △12,500千円
- ・災害復旧事業債千円…………… 7,000千円
- ・災害林道国庫負担金…………… 58,408千円

「歳出」

- ・総務政策課(定額減税補足給付金)…………… 12,000千円
- ・住民生活課(保育所会計年度任用職員報酬調整)…………… △6,000千円
- ・産業戦略課(森林整備促進事業)…………… 7,926千円
- ・建設環境課(川内奥村線法面改良工事 取り下げ)…………… △10,100千円
(道路維持補修費 村内一円)…………… 20,000千円
(林道施設補助災害復旧工事 R4・5年災)…………… 120,000千円

特別会計の補正内容

- ・諸塚村国民健康保険…………… 36,900千円
- ・諸塚村後期高齢者医療…………… 9,700千円
- ・諸塚村介護保険…………… 33,763千円
- ・諸塚村簡易水道事業…………… 2,835千円
- ・諸塚村公共下水道事業…………… 7,832千円
- ・諸塚村国民健康保険診療所事業…………… 16,000千円
- ・諸塚村発電事業…………… 226千円

条例の制定等

- ・条例の制定3件(諸塚村男女共同参画推進1件、諸塚村国保条例一部改正2件)

同意

- ・諸塚村教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて～菊池隆一氏を同意

令和6年一般会計補正予算 (NO.2)

第3回定例議会(令和6年9月20日開会)

令和6年度一般会計補正予算 補正額:7百万円
 補正前:66億3,400万円 補正後66億4,100万円

一般会計の主な補正内容

「歳入」

総務政策課 ・ 基金繰入:財政調整交付金 7,000千円

「歳出」

総務政策課 ・ 一般管理費..... △360千円

住民生活課 ・ 飲料水施設修繕補助(台風第10号被災3か所) 1,000千円

産業戦略課 ・ 椎茸団地修繕(水見椎茸団地ハウス1件) 660千円

・ 菌床栽培施設修繕(ハウス修繕) 120千円

建設環境課 ・ 耕地災害復旧事業(測量試験不足追加6か所) 5,500千円

教育委員会 ・ 六峰館修繕(外灯1基補修) 80千円

その他の議案

・ 工事請負契約の締結

※議会の議決に付すべき契約(予定価格5千万円以上の工事)

令和5年度地方創生道整備事業推進交付金事業 林道川内・片桐線開設工事

契約の金額:59,510,000円

契約の相手方:興洋開発株式会社 代表取締役 中本 英紀



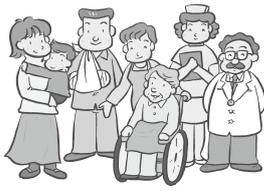
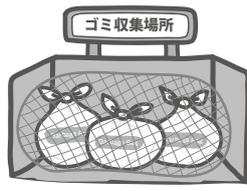
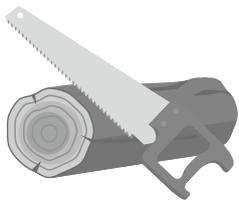
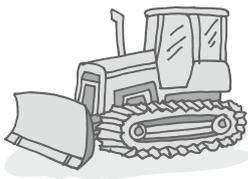
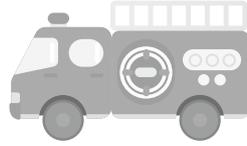
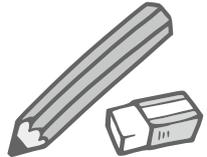
耕地災害箇所

令和6年 第3回定例会

令和5年度 一般会計決算が認定された。

(歳入額) 45億3,630万円

(歳出額) 39億8,627万円

| | | | |
|---|--|--|--|
| <p>議会費</p>  <p>4,559万円</p> | <p>総務費</p>  <p>5億2,004万円</p> | <p>民生費</p>  <p>4億487万円</p> | <p>衛生費</p>  <p>1億5,482万円</p> |
| <p>農林水産費</p>  <p>5億134万円</p> | <p>商工費</p>  <p>7,704万円</p> | <p>土木費</p>  <p>3億1,283万円</p> | <p>消防費</p>  <p>3,643万円</p> |
| <p>教育費</p>  <p>2億2,221万円</p> | <p>災害復旧費</p>  <p>11億6,114万円</p> | <p>公債費</p>  <p>3億5,092万円</p> | <p>諸支出金</p>  <p>1億9,899万円</p> |

■特別会計

| 会計名 | 歳出決算額 | 会計名 | 歳出決算額 |
|---------|------------|---------|-------------|
| 国民健康保険 | 3億 428万円 | 後期高齢者医療 | 2,884万円 |
| 介護保険事業 | 2億 8,036万円 | 簡易水道事業 | 2,989万円 |
| 公共下水道事業 | 1億 4,448万円 | 診療所事業 | 4億 1,848万円 |
| 発電事業 | 598万円 | 特別会計合計 | 12億 1,231万円 |

総括 意見

国内外で猛威をふるった新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月には5類へ移行した事を受け、各種行事も通常ベースで行われるようになった。社会経済活動の活性化が進みつつある一方で、不安定な海外情勢に起因する燃料価格を始め、物価高騰により農林業経営や村民の生活にも大きな影響を与える状況となっている。

令和5年4月には統一地方選挙が実施され、村長・議会議員の改選が行われ、村長をはじめとする執行体制も一新された。この様な中、令和5年度の予算も骨格予算として編成され、一般会計の決算は、歳入45億3,630万3千円、歳出39億8,627万8千円となり、前年度と比較すると、歳入で2億9,637万5千円、歳出で1,102万3千円、それぞれ増額となり、歳入で7%、歳出で0.3%の増となった。

一般会計及び7つの特別会計を合わせた歳出決算額は、51億9,859万4千円であり、令和4年度決算額を3.9%上回り、前年度に続いて台風14号災害における復旧・復興費が増額の要因となっている。

本村の財源は、自主財源が21.7%、依存財源が78.3%と自主財源比率が4.1%減少し、村が自主的に収入しうる財源が少なく、国・県等から割り当てられた財源に頼らざるを得ない厳しい財政運営と言える。そのような中でも、税務関係では収納環境が年々厳しさを増している中ではあるが、納税者の皆様のご理解・ご協力を頂き、昭和26年から継続して、納税完納を達成したことは本村の誇りであると考えている。

歳出では、災害復旧費が最も多く、11億6,292万9千円で全体の29.2%となっているが、台風14号災害が激甚災害に指定されたことは、今後の復旧において励みとなる。財政構造は、地方交付税の状況によって大きく影響される財政基盤で、今後とも厳しい財政運営が続くであろうと思われる。今後も「諸塚村行財政改革大綱2021」を基本に、現状を十分認識し、国県の動向を注視しつつ、住民福祉の工場に努めてもらうことを期する。

さらに、これまで以上に行政全般の見直しを行うとともに、引き続き、財政の健全化に取り組んで頂くことを期待して、総括意見とする。

個別 意見

1. 台風災害の早期復旧
2. 物価高騰における経済対策とさらなる産業振興
3. 人口減少対策
4. 情報発信、通信環境の整備促進



村政を問う!

一般質問

《今回5名の議員が質問をしました。》

①今後の本村自治公民館活動の在り方について



甲斐弘昭議員

問 今後の本村自治公民館活動の在り方、実践団体である婦人部、青年部の活動の現状と組織の見直しについての経過と今後の方向性を伺う。



竹内教育長

答 令和四年十一月に公民館長会主導で、「今後の自治公民館を考える会」を発足し、アンケートを実施した。それに基づき、年間行事の見直し、公民館の合

併、実行組合の統合について意見が出され、協議をしている。婦人部と青年部の団体とも会員減少により、存続の危機にあることは間違いないが、できるだけ存続できるように、また、新たな方向性を見出すことができるといえる。このように、聞いている。このように、聞いている。

甲斐弘昭議員

問 村婦人連絡協議会が、公民館長会の公の場で自治公民館協議会から脱退するという報告があった話も聞いている。このように、聞いている。

竹内教育長

答 三年前から婦人連絡協議会の役員で話し合いを進めてきた。今年四月に女性連絡協議会の在り方協議会を設置し、話し合いを進めているが、教育委員会がこの内容について踏み込んだ協議をしていなかったことは大変申し訳なく思っている。

教育委員会としても一生懸命寄り添いながら、今後の在り方について検討していきたい。

甲斐弘昭議員

問 婦人部会自体がなくなることはないとのことだが、そのまま実践団体で現存している。村自治公民館連協の組織図があるが、そこから婦人連絡協議会が抜けた場合、どこの部分の位置づけになるのか。

竹内教育長

答 まず明確にしておきたいのは、自治公民館連絡協議会と女性連絡協議会は全く別の団体であるということ。自治公民館連絡協議会は、宮崎県公民館連合会に女性連絡協議会は宮崎県婦人連絡協議会に所属している。村自治公民館連絡協議会の組織の中の婦人部はなくならないし、各地区において当然残ってくるという考えである。

甲斐弘昭議員

問 諸塚村の自治公民館制度をなくすわけにはいかないでしょうが、教育委員会でも前向きな方向性を示してもらい、強いご指導をお願いしたい。

竹内教育長

答 教育委員会の指導・

助言が足りなかったことは反省している。女性連絡協議会は、九月中に臨時総会を開き、その後に今後の在り方の協議会も開催予定である。教育委員会としても解散はするが、なくなるという方向性でなく、なくなる方向性にするために、今後どうすべきかの議論をしていきたい。

①温暖化による農作物の影響による対策を



尾形浩一議員

問 近年、異常ともいえる気温の上昇で農作物にも



影響が出てきている。気温が高くても収穫が安定した品種の選定や栽培方法の確立などや早めの対策を行うべきと思うが、村長の考えを伺う。



藤崎村長

問 本村の基幹作物であるしいたけは、気温や雨量によって収穫量に多大な影響を受ける作物である。種菌メーカー菌株の開発を行っているが、高温対応の新品種の開発は難しいようである。

答 今後も県やJA、その他関係機関と連携して、高温環境に適応した栽培体系や高温耐性品種の選定、高温対策栽培技術の普及について地域の実情に合わせて取り組んでいきたい。

尾形浩一議員

問 しいたけ栽培にも影響が出てきている。本村も

議会で気候非常事態宣言をしたが、このような地道な取り組みでは及ばなくなってきた。今後はまずできることを幅広くアンテナを広げて対応して頂きたい。

藤崎村長

問 地球温暖化によるしいたけ原木栽培への影響は、高温障害、病害虫問題、暖冬化の影響、春季の急激な気温上昇による発生不良がある。その対策の一つとして、寒冷紗によるほた場環境の改善がある。今後は、変動する気候条件に合わせた基本的な作業の見直しが必要になってくると思う。

②エアコンの導入に対する助成を

尾形浩一議員

問 本村もエアコン導入に対する助成をしいたけ、三年間で事業を終了している。助成事業を再開する考えはないのか。

藤崎村長

答 村政座談会でもエアコン購入助成について要望が出ています。来年度以降も危険な暑さが予想されるこ

とから、事業内容を検討した上で、令和六年度設置分から設置対象とし、令和七年度の事業として取り組んでいきたい。

尾形浩一議員

問 集会所、公民館へのエアコン設置についての助成の考えは。

藤崎村長

答 令和五年定例会で回答したとおり、村民のニーズを把握し、避難所としての在り方もあるので、必要性も考慮して検討していきたい。

①ホームページのリニューアルを含め、デジタル化による情報発信、住民の利便性向上について



甲斐秀樹議員

本村のホームページ

のリニューアルを含め、デジタル化による情報発信、住民の利便性向上について進捗状況を伺う。

藤崎村長

問 今年度、企画創生課に特命部署として、地域DX・情報発信室を設置した。また、村長を本部長とする諸塚村DX情報発信推進本部を設置し、全庁的に取り組んでいる。まず、諸塚村DX推進計画の策定を行い、推進本部の下部組織として、八つの専門部会を設置し、課題の洗い直し、デジタル化の手法、目標を協議することとしている。

答 いずれにしても、まずは今年度の地域DX推進を推進本部、推進室、専門部会等で進め、庁内全体で今後のDX推進によるIT化、デジタル化による住民サービスの向上を実現していくための基礎作りを行っていく。

甲斐秀樹議員

問 本村の情報発信が足りないと感じている。村民にとつて、身近な情報は何か、何が必要なのか、それが正確で素早く得られるも

のか。これらが揃っていないと見に行かない。今後、情報発信の豊かさ、正確さが必要になってきている。このような観点から何かあれば伺う。

藤崎村長

問 前述したとおり、重層的な推進体制で具体的な課題も抽出し、全庁的に取り組んでいく。

甲斐秀樹議員

問 ホームページのリニューアルに向けては、複数のSNSやポータルサイトで村民に向けた情報発信や利用者の利便性を研究して頂きたい。また、世代間の情報格差はなくすべく、スマホ、タブレット、パソコンなどの機器の操作ができない村民もいるので、従来の広報紙も充実して頂きたい。



①公益性の高い作業道の村道への昇格について



黒木健議員 重要かつ、公益性の高い作業道を今後村道に昇格する必要があると思うが、村長の考えを伺う。

藤崎村長 要件を満たしている重要な路線は、認定していく必要があると思うが、村道に認定した場合、道路の草刈り等については、地元で行って頂くことになるので、地元公民館の意見も聞きながら、検討していきたい。

黒木健議員 東日本大震災では、沿岸沿いの道路が津波で通行できなくなり、作業道が住民の避難、救助、復旧として利用され、まさしく命の

道となった。また、今年度から四公民館の一部の除草を事業所に委託して行っているが、その点も含めて伺う。

藤崎村長

答 本村では、生活や産業を支える道路は、林産物の搬出や森林作業に必要な施設であるとともに、分散した集落を結ぶ生活道としての役割を果たしていることから、積極的な路網整備に努めてきた。具体的な路線の要望があれば、相談頂きたい。

①旧七ツ山小学校跡の利用について



岩本國和議員

問 村外の事業所が工事に参入しやすいように、旧七ツ山小学校跡を工事関係者の方々の宿泊施設として、整備して貸し出すことはできないか。

きないか。

藤崎村長

答 今後の利活用については、活用希望も出てきているので、まずは地元との意見交換を行い、維持管理費の節減にも努めながら、どのような活用が有効であるのか、総合的に検討していく。

岩本國和議員

問 今後、村外業者が、災害復旧、国道五〇三号改良飯干バイパス工事等を順調に進めていくには、どうしても宿泊施設は必要と考えるが、七ツ山小学校跡を利用する考えはないか。

藤崎村長

答 提案のあった村外工事関係者の宿泊施設としての利活用も含めて、地元の皆さんと有効な活用方法を協議検討し、総合的な見地から判断していきたい。

岩本國和議員

問 地元との協議の場がなかったので、前に進んでいなかった大きな原因だと思う。社会教育施設でもあるので、教育長に伺う。

竹内教育長

答 ほかの社会教育施設も含めて、このようなことができるというPR、広報関係を進めていかなければいけないと考えている。

岩本國和議員

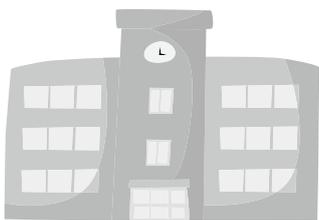
答 立岩小学校の例もあるので、早めに検討して、対策を練っていくということが大切だと思うが。

竹内教育長

答 七ツ山地区との話し合いを早急に持ちたいと考えている。また、早急に検討委員会、意見交換会等を持ち進めていきたい。

岩本國和議員

問 地域の意見を十分取り入れながら、早めに検討委員会を立ちあげて、次の利活用を検討して頂きたい。





① 国道503号飯干バイパス事業化採択後の地域の自主的な活動に対する支援について

田原尚美議員

問 七ツ山地域振興連絡協議会として、県にお礼と早期着工の要望を兼ね、あいさつに伺いたいが、補助金等の支援はできないか？

村長

答 地元の皆さんと協議をして、検討していきたい。

② 七ツ山小学校跡の利活用について

田原尚美議員

問 地元と意見交換会を行うということだが、いつ頃計画するのか？

教育長

答 今後、アンケートの依頼を予定しているが、それ

を基に12月に予定の七ツ山地区振興協議会で意見交換会をしたい。

田原尚美議員

問 前回のアンケートも活かされず、閉校後の3年間何も進んでいないが？

教育長

答 教育委員会としても反省をしているが、再度アンケートを取らせて頂き、村民、地区民と話し合いを進めていく。

③ 今後の女性連絡協議会の在り方について

田原尚美議員

問 村婦人連絡協議会が来年3月で解散すると聞いた。村民に向けて正しい情報を伝えて頂きたい。

教育長

答 他の市町村は、自治公

民館連絡協議会と婦人連絡協議会、青年団連絡協議会は全く別の組織になっているが、諸塚村は、自公連の中に婦人部、青年部が位置づけられている。女性連絡は解散するが、村自公民館の中の婦人部はなくなるならなし、活動をやめて解散をするということは絶対あり得ない。

女性連協の活動は3月31日で解散になるが、今後はあり方協議会で検討していく。

甲斐弘昭議員

問 女性連絡協議会の自公連組織の中の位置関係は？

教育長

答 女性連絡協議会を退会されても、各自治公民館には、婦人部は残っていく。女性連絡協議会は、別の組織ということを理解してもらいたい。

甲斐弘昭議員

問 2つの別の組織という感覚が、村民には理解できていないと思うので、村民が分かりやすいように周知をお願いしたい。

教育長

答 それが諸塚方式と言われるのだと思うが、組織的に全く違うものだという理解をして頂くためには、広報不足はあると思うので、周知についても考えていきたい。

① 本村のJクレジットの取組みについて

甲斐弘昭議員

問 現状と今後の取り組みについて何う。

村長

答 今回、民有林を対象とした再造林が対象となるクレジットの発行で、いくらかは既に販売がされている。別途村有林を主体に間伐対象として、オフセットプロジェクトに登録をし、販売をしてくれている。今後、も有効に活用していきたい。

① 諸塚神楽の保存継承について

尾形浩一議員

問 諸塚神楽が国指定になった後、後継者不足が心配だが、どのような形で残していくのか何う。

教育長

答 村全体の神楽保存会を作る必要があるのではと助言を頂いている。保存会を基に今後、未来に残していくためにどうすべきか、しっかりと検討していきたい。

尾形浩一議員

問 今後、1か所に集まり、割り振りして神楽を披露するような場を設ける等の検討もして頂きたい。

② 有害獣駆除の対策について

尾形浩一議員

問 有害獣駆除は、1町村の対応では限界を超えている。国・県の抜本的な対策が必要ではないか。

村長

答 国・県への要望活動は、町村会、その他の広域団体でも要望をしているが、今

後も引き続き、強く要望を
していきたい。

①倒木の危険性のある 巨樹等対策について

甲斐秀樹議員

問 村内には、集落や住
宅の裏山、墓地の近くとか
に倒木の危険性がある巨樹
が多く点在している。防災
面でもそのような木を除去
するよう予算立てができ
ないか？

村長

答 直接事業を起こして
対応したことは、現在まで
行っていないが、家屋等へ
の被害が想定される場合は、
状況を確認して考えてみ
たい。

甲斐秀樹議員

問 高所作業車等を使用
する場合、かなりの負担が
生じるし、個人や集落では
対応ができないものもある
ので、対策をお願いしたい。

①ソメイヨシノのテン グス病対策について

黒木健議員

村として、公道にお

けるテングス病の除去、施
設における除去を今後行う
予定はないか？

村長

答 過去に治山林道協会
の財源で取り組んだことが
ある。村内の状況を確認し
て、相当のテングス病の状
況があれば考えていきたい。

黒木健議員

問 林道等は、森林環境
譲与税でも使えると思うし、
施設等は企業版のふるさと
納税で使えるのではないか
と思うが、安心安全な暮ら
しができるようをお願いし
たい。

①災害個所の復旧について

山本多喜弥議員

問 佐礼の稲荷さん側が
壊れたままだが、台風の度
に怖い思いをしている。そ
の後どうなっているかを聞
きたい。

建設環境課長

問 県が現地を確認して、
何らかの事業対応ができな
いか、協議をしている。ま
た、治山事業で要望しなが
ら、そのような除去までが

できるのか、今模索してい
るところである。

②学校敷地内の樹木の 除去について

山本多喜弥議員

問 敷地内の樹木に枯れ
枝があり、危険であるが、
対策ができないか？

教育長

答 卒業生が植えた記念
樹などで、伐採は難しい。

山本多喜弥議員

問 樹木の伐採でなく、
枝払いをしてもらいたい。

教育長

答 中学校に確認をして
対応したい。

①災害復旧について

岩本國和議員

問 激甚災害に指定され
なかった所や農道等の災害
個所の今後の取り扱いは？

建設環境課長

答 災害復旧工事が進ん
でいない状況であるが、申
請漏れがないように取り組
んでいきたい。

②田の基盤整備について

岩本國和議員

問 農業省力化事業等で
年次的に田の基盤整備がで
きないか？

産業戦略課長

答 農業省力化事業は、
複数枚の田を一枚にするこ
うのを対象としているが、
事業の要望調査の時に出
て頂き、意見を参考に、必
要があれば要綱等の見直し
もしていきたい。

③畜産事業の運搬車導 入の支援について

岩本國和議員

問 畜産業でも機械導入
が進んでおり、経営を圧迫
しているが、運搬車導入の
支援はできないか？

産業戦略課長

答 トラックの導入費は
今のところ補助事業のメニ
ューはないが、内部でも検
討させて頂く。

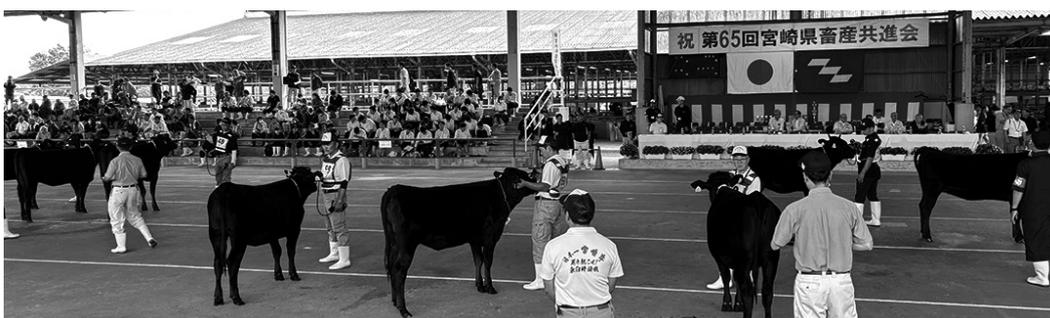
岩本國和議員

問 他の町村では補助を
しているところもあると聞
いている。前向きに検討し

て頂きたい。

産業戦略課長

答 子牛の競り、資料の
運搬等必要性は理解してい
るので検討していく。



第65回 宮崎県畜産共進会 (八重の平 岡田 忠重氏 出場牛)

所管事務調査報告

〔令和6年9月5日(木)〕

連合調査 (総務・産業建設常任委員会)

熊本県菊池市にある、きくちふるさと水源交流館の茂藤事務局長、原館長及び松崎広報担当から中学校跡地を活用したまちづくりグリーンツーリズム拠点施設について話を伺う。

この法人は、平成十二年三月をもって生徒数六七名の中学校が閉校し、地区住民が廃校になった施設の活用について、平成十三年五月に検討を開始し、平成十五年五月に「きくちふるさと水源交流館」として、開館、事務所開きをしている。

平成十六年一月には、地区住民全てを法人会員、区長と有志が法人理事として「NPO法人きらり水源村」を設立し、平成十八年に校舎の改修等を行い、管理・運営を行っている。

事業内容は、地域活性化事業、都市山村交流事業、自然体験活動支援事業、自然環境保全事業、指定管理業務委託事業、農産物、加工品の販売事業があり、その収入は二一、〇〇〇千円ほどであり、菊池市からの指定管理制度により一四、〇〇〇千円の委託料で運営をしている。

話を伺い、当初の協議会設立メンバーの情熱があり、地元住民が廃校になった校舎を存続させたいという強い意志があったからこそ、NPO法人を設立し、地域の自然環境を活かしたグリーンツーリズム拠点となったものと思われる。

今回の連合所管事務調査が、諸塚村の取り組みに資することを期待して報告とする。



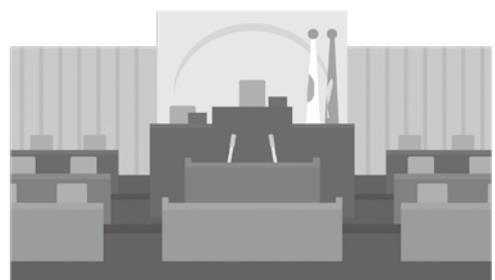
調査の様子

議会を傍聴してみませんか。

次回は12月開催の予定です。議会の傍聴にお気軽にお越しください。

詳細については、議会事務局にお問い合わせください。

《お問い合わせ》 議会事務局 TEL 65-1130



一 議会活動報告 一

| 月 | 日 | 行事名 | 参加者 | 場所 |
|----|-------------|--------------------|----------|--------|
| 8 | 5 | 日向・東臼杵郡議長会要望活動 | 議長 | 宮崎市 |
| | 6 | 日向土木・林務駐在との意見交換会 | 全議員 | 役場 |
| | 8 | 第1回臨時議会 | 全議員 | 役場 |
| | 9 | 例月出納検査 | 議選監査委員 | 役場 |
| | 20 | 九州中央道建設促進地方大会 | 議長 | 山都町 |
| | 27 | 県監査委員協議会臨時総会・研修会 | 議選監査委員 | 美郷町 |
| 9 | 3 | 議会運営委員会・全員協議会 | 全議員 | 役場 |
| | 4 | 九州地方整備局要望活動 | 全議員 | 福岡市 |
| | 5 | 所管事務調査 | 全議員 | 菊池市 |
| | 9 | 例月出納検査 | 議選監査委員 | 役場 |
| | 10 | 定例議会開会(～20日) | 全議員 | 役場 |
| | 11 | 決算審査特別委員会 | 全議員 | 全議員 |
| | 12 | 〃 | 全議員 | 全議員 |
| | 13 | 〃 | 全議員 | 全議員 |
| | 20 | 定例議会開会(最終日) | 全議員 | 役場 |
| | 25 | 国道503号期成同盟会総会・決起大会 | 全議員 | 中央公民館 |
| 26 | 東臼杵郡町村議員研修会 | 全議員 | 日向市 | |
| 10 | 1 | 東臼杵郡議長会視察研修 | 議長 | 福岡県 |
| | 4 | 産業建設常任委員会視察 | 産業建設常任委員 | 高鍋町 |
| | 9 | 例月出納検査 | 議選監査委員 | 役場 |
| | 10 | 宮崎県町村議会議員研修会 | 全議員 | 国富町 |
| | 10 | 宮崎県三村議会協議会総会 | 全議員 | 宮崎市 |
| | 17 | 定期監査 | 議選監査委員 | 役場・事業所 |
| | 17 | 監査委員ブロック別研修 | 議選監査委員 | 高千穂町 |
| | 21 | 全国町村監査委員研修会(～23日) | 議選監査委員 | 東京都ほか |
| | 28 | 北部広域行政事務組合議会 | 総務・産建委員長 | 延岡市 |



決算審査特別委員会



森林組合との意見交換会



東臼杵郡町村議員研修会



三村議会総会

随想

徒然に

田原 尚美

宮日に連載されている阿川佐和子さんの『だいたい幸せ』が面白く、日曜日の朝が待ちどろしい。

阿川さんは毎回猫のイラストを描かれている。だからといって猫好きでもなく育った家庭が無類の猫嫌いとその影響を受けているようだ。成長の過程において家族の影響は大きい。

私も犬や猫に縁なく育ったせいか近くにいたる事さえも、体質的に受け入れられない。それは鶏にも及ぶ。子供の頃帰宅した途端、小屋から抜け出した鶏に飛びかかられた嫌な記憶があり、トラウマになってしまった。

我が家の鶏にも愛着が持てない。でも食するとなるとそれについては問題なく、まるで敵討ちのようにしっかりと食べる事が出来るから不思議なものだ。犬、猫についても然り。犬や猫好きさんには大変申し訳ないが、どうしても敬遠してしまうし、もちろん相手にも嫌われているようだ。数人で犬の前を通ると私の時だけ『ワン!!』と吠えられる。阿川さんも猫がシャアと睨みつけると書いています。お互いに相性が悪いことを獣の本能として感じとっている

のだろう。用あって人の家に訪問した際、犬の門番に出会った時はかなりの勇気を振り絞り、目を合わせないように通り過ぎるようにするが、それでも動かない時は、断念して帰ったこともある。まあこれ以上書くと、弱みを握られるのでやめておこう。動物との相性が悪くとも日々幸せならそれが一番。来週の宮日が待ちどろしい、季節は物悲しい秋。

編集後記

米の収穫作業も終わり、皆さん一息ついているところだと思いますが、今年も豊作でしたでしょうか。さて、今年には特に有害鳥獣の被害に見舞われた方が多かったと聞きますが、いかがでしょうか？

猪鹿さぎ、特に猪の被害はどこでもあつたよう、手間をかけて育てた米が食い荒らされている田んぼを見かけました。私が作っている田も昨年と同じ所からワイヤーメッシュをこじ開けたり、2メートル以上ある石垣の下から、はい上って侵入されました。猪との知恵比べは、さていつまで続くのでしょうか？

(編集委員)

甲斐 弘昭 甲斐 秀樹
山本多喜弥 黒木 健